

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【公開番号】特開2018-80270(P2018-80270A)

【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2016-223834(P2016-223834)

【国際特許分類】

C 08 F 20/56 (2006.01)

C 08 F 2/44 (2006.01)

G 01 N 31/00 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2018.01)

【F I】

C 08 F 20/56

C 08 F 2/44 B

G 01 N 31/00 V

C 12 Q 1/68 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月15日(2019.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

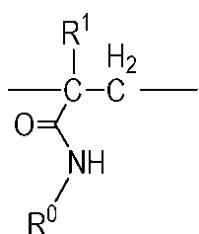
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記構造式1で表わされる繰り返し単位を有する重合体であつて、

【化1】



1

前記重合体において、

一部のR⁰は、2つのR⁰で一組となって架橋構造である2価の基R²を形成し、

前記2価の基R²を形成しないR⁰は、1価の基R³であり、

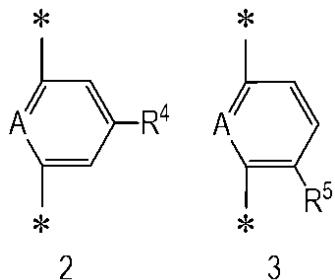
R²は、炭素数1から20の直鎖または環状の脂肪族炭化水素基、置換基を有してよい芳香族基、またはヘテロ芳香族基であり、

R¹は、メチル基または、水素原子である重合体。

【請求項2】

R²が、下記構造式2または下記構造式3で表わされる請求項1に記載の重合体。

【化2】

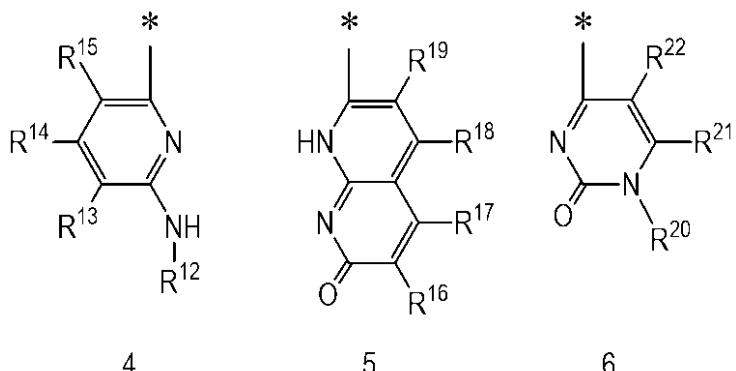


(前記構造式2及び前記構造式3において、R⁴及びR⁵は、アルコキシ基、アルキルスルホニル基、アルキルカルボニルアミノ基、アルキルアミノカルボニル基、アルキルカルボニルオキシ基、アルキルオキシカルボニル基、及びアルキルチオ基のいずれかの炭素数1から20の基であり、Aは窒素原子または水素原子が一つ結合した炭素原子である、ただし、R⁴及びR⁵中の炭素原子に結合した水素原子はハロゲン原子で置換されていてもよく、*は前記構造式1におけるNHの位置を示す。)

【請求項3】

R³が下記構造式4、下記構造式5、及び下記構造式6のいずれか1つの構造で表わされる請求項1または2に記載の重合体。

【化3】

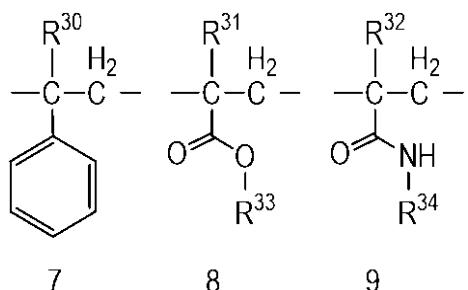


(前記構造式4、前記構造式5および前記構造式6において、R^{1~2}及びR^{2~0}は、水素原子、または、飽和または不飽和の炭化水素基であり、R^{1~3}からR^{1~9}、R^{2~1}及びR^{2~2}は各々独立に、水素原子、ニトロ基、ハロゲン原子、または、飽和または不飽和の炭化水素基であり、*は前記構造式1におけるNHの位置を示す。)

【請求項4】

下記構造式7、下記構造式8および下記構造式9の少なくともいずれか1つで表わされる繰り返し構造をさらに有する請求項1から3のいずれか1項に記載の重合体。

【化4】



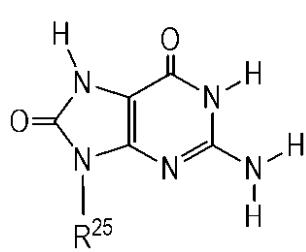
(前記構造式7、前記構造式8及び前記構造式9において、R^{3~0}からR^{3~2}は、水素原子またはメチル基を示し、R^{3~3}及びR^{3~4}は、水素原子、または、飽和または不飽和の炭化水素基である。)

【請求項5】

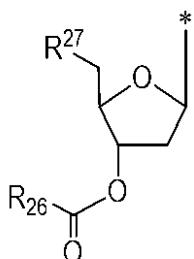
下記構造式10で表わされる化合物の存在下で重合して得られる請求項1から4のいず

れか 1 項に記載の重合体。

【化 5】



10



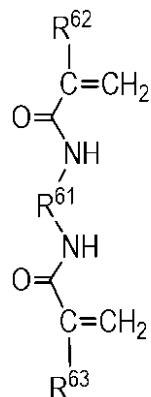
11

(前記構造式 10において、R^{2~5}は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基、または構造式 11 で表わされ、前記構造式 11 において、R^{2~6}は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基であり、R^{2~7}は、ヒドロキシル基、または炭素数 1 から 16 のアルキルカルボニルオキシ基であり、*は前記構造式 10 における R^{2~5}と結合した窒素原子の位置を示す。)

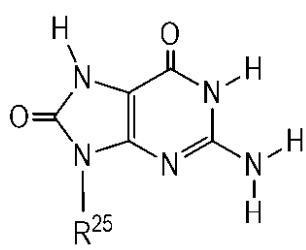
【請求項 6】

下記構造式 12 で表わされる化合物を、下記構造式 10 で表わされる化合物の存在下で重合して得られる請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の重合体。

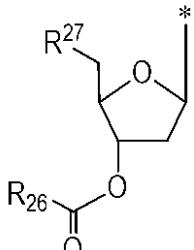
【化 6】



12



10



11

(前記構造式 12 において、R^{6~1}は、炭素数 1 から 20 の直鎖または環状の脂肪族炭化水素基、置換基を有してよい芳香族基、またはヘテロ芳香族基のいずれかであり、R^{6~2}及び R^{6~3}は各々独立に、メチル基または、水素原子であり、

前記構造式 10 において、R^{2~5}は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基、または上記構造式 11 で表わされ、前記構造式 11 において、R^{2~6}は炭素数 1 から 18 の脂肪族炭化水素基であり、R^{2~7}は、ヒドロキシル基、または炭素数 1 から 16 のアルキルカルボニルオキシ基であり、*は前記構造式 10 における R^{2~5}と結合した窒素原子の位置を示す。)

【請求項 7】

R⁶ が、置換基を有してよい芳香族基である請求項 6 に記載の重合体。

【請求項 8】

R² が、炭素数 1 から 16 のアルキルカルボニルオキシ基である請求項 5 から 7 のいずれか 1 項に記載の重合体。

【請求項 9】

8 - オキソ - 2 ' - デオキシグアノシンの検出に用いられる、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の重合体。